



ギリシャの投資環境について

UHY FAS ニュースレター No. 1/ 2017年11月

Executive summary:

- 2009年のギリシャ危機から7年後の2016年6月にギリシャ議会で、海外投資を呼び込むための法案が決議された。2017年7月国債発行が再開され、2017年11月、政府は、金融支援プログラムで目指した基礎的財政収支の黒字目標を達成したと宣言。
- 観光大国ギリシャへの投資リスクは依然として高いものの、近年急速な回復基調にある。

2017年及びそれ以前のマクロデータの検証

- 近年の経済成長率の統計を見ると、2012年が-7.3%から、2014年にかけて大きく改善し、2016年0.0%になった。
- 観光客数は、2008年1,594万人、2012年1,550万人（世界17位）から2016年2,480万人（世界14位）と増加。
- 投資は、2012年は-23.5%であったが、2015年までで-0.2%まで改善し、2016年には0.1%になった。2017年11月、チプラス首相は、2%台、2018年は3.0%に近づく可能性を示唆。
- 2017年11月、フランスなどが、国債のデフォルトを防ぐために支援を表明している。
- ギリシャ国債の金利は、2009年に一時的に年率40%超となったが、現在は10年債で5.4%。ユーロ危機で名前が上がったポルトガルやイタリアは1.8-1.9%で推移。ギリシャ国債格付は、未だ投機的格付であるため、今後も注視は必要。

国債(自国通貨)	ギリシャ	ポルトガル	イタリア	ドイツ	フランス
10年	5.463	1.932	1.829	0.361	0.693
20年	6.103	2.986	2.561	0.880	1.270
格付(S&P)	B	BBB-	BBB	AAA	AA

(2017.11.24)

- 不動産価額の下落は止まりつつあり、2016年、2017年には回復基調となった。消費額などの回復は低迷しているものの、個別に実物資産を見てゆけば、魅力的な投資案件があるようだ。



ご質問やご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



コンタクト

株式会社 UHY FAS

齊藤 守人 - バイス・プレジデント

Email: saito.fas@uhy-tokyo.or.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 7-3-37 プラース・カナダ 3F

Tel: +81 3 5410 1395/ Fax: +81 3 5410 2475

Website : <http://www.uhy-tokyo.or.jp/uhy-fas>

